



苓北町議会だより

133

2025年(令和7年)

4/21 発行

あなたと議会のかけ橋に

きずな

主な内容

- 一般質問 2～6
- 補正予算・当初予算等 7～13

志岐中尾地区棚田

発行 苓北町議会 TEL35-3337
編集 議会広報特別委員会

新しい委員会委員でスタート

任期 令和7年2月6日～令和9年2月4日

各常任委員会、議会運営委員会、議会広報特別委員会の委員が新たに選任され、活動を開始しました。

総務文教厚生常任委員会

委員長	倉田 明
副委員長	田崎 健司
委員	田嶋 幸英
委員	廣田 良人
委員	松本 幸雄

建設経済環境常任委員会

委員長	山口 利生
副委員長	浜口 雅英
委員	錦戸 俊春
委員	高戸 幸雄

議会運営委員会

委員長	錦戸 俊春
副委員長	田嶋 健司
委員	廣田 幸英
委員	田崎 良人
委員	高戸 幸雄

議会広報特別委員会

委員長	山口 利生
副委員長	高戸 雅英
委員	松本 幸雄
委員	倉田 良人
委員	明 幸雄

問一 格差のない交通手段の確保のため、内田、都呂々方面の交通手段について再三要望したが聞き入れられなかった。現在福祉バスの運行があるが、不満の声も多い。富岡、志岐、坂瀬川方面は産交バスが運行され、その経費の補填として町費から五年度は約一千九六〇万円が支払われているが、内田、都呂々方面の交通手段はない。

町長 二酸化炭素による温暖化が問題視され、高齢化社会に高齢者の足として、又運転免許返納問題が浮上している中に、町有バス運行は最優先だと考える。しかしながら厳しい財政事情の問題もあると思われる。

この事から、参考までに富岡、都呂々(下田、木場)方面を、通学バスを最大限活用し、小学生と一般市民との相乗りで運行する計画書を作成してみた。諸々問題はありますが、知恵を出しながら二酸化炭素の削減や財政を見極め、格差のない社会の確保をお願いしたいが町長の考えをお尋ねする。

町長 スクールバスを活用した大幅な増便は厳しいものと考えます。

(通学バスは参考までに掲げただけ。二酸化炭素、財政面、クリアしたら格差のない町づくりを望む)

問二 前向きに検討する行政情報配信システムよかナビについて再度尋ねた。

タブレット端末配布の配布は高齢者のみの世帯でスマホを所持しない世帯に配布するとの説明であったが、配布してある。又八五〇台購入算定に至った経緯、根拠を納得できないので再度お尋ねする。

町長 タブレット端末、八〇〇台の内七二二台配布、残り七八台。

独居高齢者、高齢者のみ世帯等スマホがない世帯に端末器を配布するとしている。(スマホがある世帯にも配布してあるが「問題一」)

問三 学校部活動が学校から地域部活動に移行されると聞いている。今後の対応をお尋ねします。

教育長 平日の部活動については当面の間、現行の活動を継続する事が望ましいと考えている。

問四 よかナビ情報配信に伴い、小型端末機、光ファイバー、無料電話、テレビ視聴、ワイファイ回線等のようになるのか特に、無料電話は、N.T.T電話を廃止し、無料電話に乗り換えた方が多い。

町長 無料電話は利用できなくなる。(既得権問題で問題ではないかと思うが、他については諸々の説明があったが紙面の都合で省略)

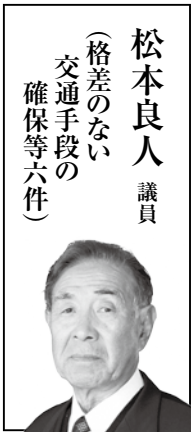
問五 富岡八区から円通寺の間、法面保護工が行われ完成している。ここは、道路拡幅が必要な所、国は一度完成した事業の新規採択は難しい。町は常に町内の状況を把握し、国、県の事業等には注視して頂きたい。町長の見解は?

町長 効果的な実施に努めていく。

問六 事業費約三七〇億円のゴミ処理施設事業が頓挫している。今回不祥事が起きた要因、又事業の進捗状況についてお尋ねする。

併せて、誰の責任になるのか、当然経営陣の刷新が考えられるが、どのようにするか尋ねる。

町長 連合に責任ある。私も含め連合執行部、事務局も反省している。(経過の説明あり)省略。経営陣の刷新については言及なし)



松本良人 議員
(格差のない交通手段の確保等六件)

質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載しています。

問一 平成27年6月11日、これまで経験したことがない集中豪雨により町内全域でがけ崩れや河川の氾濫等の大災害が発生。志岐川河川管理者の熊本県は、この洪水時の最大水量毎秒約90m(推計)を参考に、目標流下能力を現況の毎秒約50mから毎秒130mまで流せる新たな志岐川河川改修計画を策定。平和橋より上流500mまでの区間を第1期工事として、令和5年度から護岸の高上げ、河床切下げや志岐橋架け替えに着手した。第1期河川改修工事の完成により周辺地域の浸水被害は減少するが、志岐川の流下水量の大幅増加により洪水と大潮の満潮時間が重なった場合、平和橋より下流の志岐漁港海岸保全区域周辺の明神山区や浜ノ町区の住宅への浸水被害が危惧される。

そこで、苓北町でも熊本県の志岐川河川改修計画に合わせて志岐漁港海岸保全区域の護岸等改修計画を策定し、河床の掘削や利用されていない物揚げ場の撤去、雨水管等からの逆流を防ぐフラップゲート等の設置を実施すべきだと思うが町長の考えを聞く。



町長 志岐川河口部の平和橋から下流域は、漁港施設として右岸側を馬場護岸、左岸側を港内明神山護岸とし、漁港管理者の苓北町が管理している。馬場護岸は昭和51年、明神山護岸は昭和53年に整備が完了し、それぞれ49年と47年経過。また、志岐漁港海岸は、令和5年度に紺屋町護岸及び志岐漁港道路の整備が完了。今後は、既存施設の老朽化対策や護岸天端高の再検証、河床の掘削や高潮等の対応について関連予算の確保を含め検討して参る。

問二 令和7年3月末で告知端末放送が終了し各家庭に設置しているI.P告知端末機の無償回収が始まるが、全世帯に接続している光ファイバー網の今後の活用方法についての考えを聞く。

町長 今後、光ファイバーケーブルや各種設備の更新に多大な費用が発生するため国の高度無線環境整備推進事業を活用し、令和9年4月から民間事業者が光ファイバー網を譲渡し、設備も運営も民間で行う民設民営方式に移行する予定である。

質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載しています。

問一 総務省が示す「税務システム」の標準化が進められていることについて、苓北町における期別割変更の有無、有りの場合、移行までのスケジュールをどのように考えておられるのか。

町長 苓北町においては、税の納期の標準化に向けた取り組みを次のように考えている。

個人住民税と固定資産税がその対象となり、令和8年度から現行の期別割である10期課税を総務省が示す、4期課税に変更したい、と考えている。

確かに、納期を圧縮すると納付に対する負担感が生じることとなるが、この4期仕様が標準となり、仮にこの4期以外を選択すれば、関連費用が増額となってしまうことになる。

また、口座振替や金融機関での窓口納付、コンビニ収納において町が負担している手数料が減少となる。

今後、4月の区長会総会、広報誌において、町民向け、事業所向け、に周知を行いたいと考えている。町税の納期に係る条例の改正も必要となる。

非常に身近で重要な事柄である、



丁寧にお知らせし、ご理解いただくよう努めて参る。

問二 予防接種について

一、国の定期接種となる带状疱疹予防接種の運用

二、おたふくかぜワクチンの町独自の公費助成検討状況を伺う

町長 令和7年4月1日から65歳以上の5歳刻みでの定期接種が開始される。

苓北町でもそのように運用していく。

定期接種から除かれる50歳から64歳や66歳以上の5歳刻みの対象とならない町民の方には町独自の施策として、令和6年度と同様に引き続きその助成を継続実施することとした。

おたふくかぜワクチンの定期接種化について国において、検討が続けられている。

国の動向を注視しながら今後もさらなる検討を重ねつつ、適切な予防接種業務を行って参る。

①ふるさと納税の取り組みについての提案
②町内巡回バスの利用促進についての提案



田嶋 健司 議員

我が苓北町も、返礼品の充実を図り寄附者の獲得に力を入れているが、令和5年度は93,659千円と上昇していたが、令和6年度となり令和7年の1月までは31,336千円と前年度比33%にとどまっているが、このような状況の原因をどのように考えているか。

問①

この苓北町にも、海、山、農地とそれぞれにいろいろな問題がある。それぞれの問題に対して支援を納税者に選んで寄付してもらうクラウドファンディング型ふるさと納税の返礼品を考えてみてはどうか。例えば、
・山間部の景観や水路の維持、林道の保全対策―里山メンマ
・海岸清掃、藻場造成、天草拓心高校マリナ校舎支援―マリナ校舎製造の請負・海産物
・農業支援、堆肥センター補修、輸送費支援―レタス・みかん・米
返礼品ごとに、使われる寄付金の先を納税者が選べるようにしてはどうか。

町長

次に寄附者についてだが、苓北町出身者の人達、拓心高校のOB、苓北町に関わりを持った人等、苓北町に住んだことのある人や知っている人達に呼びかけてみてはどうか。
他市町村と比較し、寄付単価が高くなったこと、広告宣伝費にかける費用も捻出出来ず、インターネット上の検索エンジンで上位表示できなかった。委託業者の力量の差があったのではないかと考える。令和7年度から委

町長

託業者を変更する。
地域貢献が反映しやすく、有効な手段であると考え。町内返礼品提供事業者とも連携を図りながら、研究して参る。
ふるさと納税の周知や寄付のお願いを行っているが、今後も情報発信を行い、苓北町を応援していただけるような取り組みを推進して参る。

問②

苓北町では、公共交通網の縮小を補うために町営巡回バスの運行や、高齢者の移動をサポートするための在宅高齢者等移送サービス事業、買い物支援策の移動販売車の導入・運営に対する支援等、様々な施策を実施されているが、町営巡回バスの運行に対しては利用者数の増加に向けた取り組みを、何かお考えか。また今後、巡回バス以外の選択肢もお考えか。

町長

利用者数増加については、現行の運行時間帯の見直し、買い物困難対策問題兼ね、午前帯・午後帯の2回往復できる運行計画を検討している。巡回バス以外の選択肢は、採算性を含め大変厳しい。巡回バスの運行を基本として、在宅高齢者等移送サービス事業などにより移動手段を補完し合いながら、交通対策の充実が図られるように引き続き努めて参る。

再質

各バスに携帯電話を持たせ、乗車を予定している人が連絡し、運転手が柔軟な対応をするようにできないのか。また、バスの時刻表が分かりづらいので、「よかナビ」に各地域別の時刻表を掲載できないか。

上・下水道、排水管等の敷設保守管理について

上・下水道は、管の曲がり角や段差で流れが遅くなった空間が出来たりすると、硫化水素が発生しやすく、さらに、その硫化水素が酸素と反応して生成した硫酸が、コンクリートや金属の腐食を進ませると言われている。

道路の陥没事故は、主に道路に敷設された管路や排水施設の老朽化、腐食や浸透水などが原因で発生する。また、空洞化による陥没も多い。苓北町の場合、地形が多様で各所マンホールより圧送も多くあると思う。そのマンホールの口径は大きく、深いと思う。また、その場所に地下水が浸透する場合は、周囲の崩落(陥没)も心配される。

町長 口径が最も大きい下水道処理施設付近のマンホール蓋や路面の点検調査を実施した。何ら異常はなかった。マンホール周りの舗装がさがり通行に支障となる部分は随時補修している。

町道等維持管理・安全対策について

問① 町道等の維持管理を、機械化による維持管理は出来ないか。作業用機械導入(モア、フォーク)で、



錦戸 俊春 議員

効率的な作業が出来ると思う。初期投資が必要となるが、作業の効率化、また、働き方改革、作業環境などを考慮すると、費用対効果はあると思う。

町長 人員等作業体制の問題、作業員の技術力・安全上の問題、また、業者委託で行った場合やリースで行った場合との比較など、諸々の問題について十分検証を行ったうえで、財源も含め今後検討する。

問② 崩落の恐れのない部分などは、除草剤散布による、維持管理はできないか。

町長 農地や人家など近隣の状況を慎重に確認し、除草剤による除草作業を考えている。

問③ 通行時の事故防止のため、停止線の無い部分の表示。交差点に、通行区分白線の表示。白線の消滅箇所白線の表示で、安全対策に繋がると思う。

町長 道路パトロールを強化しながら、予算確保を図り、交通事故防止の徹底に繋がるよう、引き続き努力する。

質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載しています。

一 特定地域づくり事業協力組合の設立について

田嶋 本制度を活用することで、安定的な雇用環境と一定の給与水準を確保した職場を作り出し、地域内外の若者たちを呼び込むことが出来るようになる。地域事業の人手不足解消の一助となると考える。町執行部においては、前向きに取り組むよう、検討していると聞いていますが、現在どのような状況にあるのか、また、今後の考え方について問う。

町長

令和7年6月を目標に、プロジェクトマネージャーの雇用に向けた事務を進め、事前準備協議会を設立し、令和8年度から適用を受ける組織の設立を目指している。

二 農業振興について

優良血統和牛繁殖事業補助金の「補助金額アップ」で「畜産農家の手取りを増やす」。
今、子牛の価格が畜産農家の思うような価格で取引されていない。

田嶋

令和5年度決算で、優良血統和牛繁殖事業補助金で、精液、受精



田嶋 稔 議員

卵で84本、36万3,000円が支出されている。これは全体の出荷頭数の何%か、また、補助率は何%か。

町長 令和6年4月から令和7年1月までの出荷頭数は219頭で、本事業で出荷した頭数は40頭で約18%となる、補助率は約25%の実績である。

田嶋

その事業を利用した場合と利用しなかった場合の、販売価格の差はどの位か。

町長

令和7年2月のセリ平均価格は、59万円、本事業を利用して出荷した価格は61万円と72万円、2、13万円高く取り引きされている。

田嶋

その販売価格の高い牛を多くつくるため、本事業を農家に導入しやすくし、対象牛を拡大し、所得の増大を図るための「補助率のアップ」は考えられないか。

町長

J Aの営農指導員、生産者と話し合いながら、効果の出るような政策を進めていきたい。



倉田 明 議員

問① 「南海トラフ地震」情報で今年1月、30年以内に発生するマグニチュード8.9の巨大地震の発生確率が「80%程度に」引き上げられ、苓北町は津波3メートルと想定されている。「阪神・淡路大震災」「東日本大震災」「熊本地震」や「能登半島地震」など、一連の状況等を踏まえ町長の見解、及び「旧耐震化基準」に加え、今回「新耐震化基準」(昭和56年6月から平成12年5月まで)補助対象が拡大された。利用者への「耐震化改修補助金」等の周知について。

町長 いち早く、避難タワーや広域避難地の整備を行うとともに、町民皆様の防災意識の高揚と地域防災力の向上を図るため、各行政区に自主防災会の設立に取り組み(現在48区)、富岡地区全てに設立された。今月、富岡公民館で防災訓練を予定している。

民間住宅の耐震化については、令和7年度から国補助金が拡充され、本人負担軽減の制度改正が行われ、町も新制度補助金を計上した。

また、非常食など備蓄品の確認や、日頃から地震発生時の避難行動など周知徹底を行って参りたい。

問② 我が国の2023年の婚姻数は47万4717組と戦後初めて50万組を切った。コロナ禍の影響と思われるが、2024年の出生数は68万5千人(日本人)で戦後最低だった前年を下回る見込み。

本町は、令和元年度から6年12月まで、結婚87組、出生数125人、亡くなられた方は678人、転出日本人1090人、転入703人。転出外国人96人、転入175人。

人口は今年1月末現在6218人で、最近外国人の転入が増えつつあるが、町の「結婚支援事業」の取り組みと、この事業へ参加年齢と外国人の相談・応募状況について。

町長 天草市と連携して「結婚支援事業」に取り組み、6年度は3回の縁結びイベントで本町からの参加者7名のカップル(お付き合い)となっている。来年度から上天草市にも参画いただき、2市1町でAIを活用したマッチングシステムの導入検討を含め、結婚に関する相談会の充実を図りたい。

年齢は、25歳から39歳まで男女各10程度としている。この「結婚支援事業」への相談や参加者の外国人の応募はあっていない。

こんなことが決まりました!!

令和7年 第1回議会定例会 開催日：3月5日～3月13日

令和7年第1回定例会が、令和7年3月5日（水）から3月13日（木）までの会期で開会され、条例改正や令和6年度補正予算及び令和7年度当初予算などが上程されました。

■条例改正等について

議案番号等	事 件 名	備 考	結果
議案第1号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律が令和7年4月1日から施行されることに伴う改正。	○
議案第2号	苓北町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律が令和7年4月1日から施行されることに伴う改正。	○
議案第3号	苓北町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	苓北町の国民健康保険税における負担割合について、熊本県が示す標準保険料の負担割合への統一へ向けた調整を段階的に図ることに伴う改正。	○
議案第4号	苓北町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する内閣府令」及び「子ども・子育て支援法施行規則等の一部を改正する内閣府令」が令和7年4月1日から施行されることに伴う改正。	○
議案第5号	苓北町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	子ども・子育て支援法施行規則等の一部を改正する内閣府令が令和7年4月1日から施行されることに伴う改正。	○
発議第1号	苓北町税条例の一部を改正する条例について	商品であって使用しない軽自動車等及び、走行不能な軽自動車等、道路運送車両法施行規則別表第1に定める小型特殊自動車のうち、その用途から道路を損傷させない、又、公道の走行を目的としないと認められる作業車等への課税を免除するもの。 提出者：松本良人議員	×
発議第2号	苓北町議会議員の期末手当の特定に関する条例の制定について	物価高騰を考慮し、町民の生活安定に寄与するため、令和7年度の議会議員の期末手当を削減するもの。 提出者：松本良人議員	×
発議第3号	苓北町立小中学校の児童及び生徒に係る学校給食費無償化に関する条例の制定について	物価高騰を考慮し、保護者の負担軽減（学校給食費の無償化）を図り、子育て支援を推進する。 提出者：浜口雅英議員	×

【結果の表示について】 ○全会一致で可決 ×賛成少数で否決（賛否表はP11のとおり）

発議第1号 苓北町税条例の一部を改正する条例に対する討論

原案に反対討論

錦戸議員

税の公平性を考え、課税すべきと思う。農業経営の現況は、肥料の高騰、農薬の高騰、燃料費の高騰、資材費の高騰などで、経営に苦慮していることは確かで痛烈に感じている。町は、農業経営にも多面的に支援しており、大変有り難く感謝している。非課税ではなく、税の公平性を考え課税し、農業振興費で、振興策として支援をお願いするべきと思う。発議に反対する。

田崎議員

提出者の気持ちは理解できるが、この改正案文にある、「走行不能な軽自動車等」の条文中、納得できない。反対する。

発議第2号 苓北町議会議員の期末手当の特例に関する条例の制定に対する討論

原案に賛成討論

松本議員

生活用品が高騰しているなかに、平成二四年まで課税されていなかった農業用の、田植機、コンバイン、レタス移植機、数々の防除機等や、中小の関係事業者所有のバックホウ等の作業車について、軽自動車税が課税、徴収されている。自動車税は道路に損傷を与える事から課税されるのが本来の目的と思われるため、今回の軽自動車税の作業車に対し非課税の取り扱いがなされるよう発議を提案した。このことから本案に賛成する。

発議第3号 苓北町議会議員の期末手当の特例に関する条例の制定に対する討論

原案に賛成討論

浜口議員

日常生活の中で米等生活必需品が値上がりしている。基幹産業である農業も肥料の高騰が進み苦しい運営が求められている。私たち議員は報酬と手当を受け取っている。期末手当は受けるべきでない。よって、賛成。

- ①災害用井戸の設置及び維持管理について
- ②新たに設置予定の義務教育学校について
- ③水道用水の安全確保のための取り組みを



高戸 幸雄 議員

問① 先月、災害用井戸の政府調査で「ある」とした自治体は、31・7%にとどまっている。平成30年9月議会で、雑生活用水確保のため、手押し式「災害応急用井戸」を設置すべきと質問をした。結果4地区の公民館及び集会所に設置されている。今後のコミセン及び非常時本部となる役場への整備計画は。非常時に円滑に水供給ができるためには日ごろからポンプの維持管理が重要である現状は。

町長 コミセンは、土地改良区の濁水用ポンプを役場は、保健センターの防火水槽の利用をそれぞれ考えている。維持管理については、毎月巡回点検を行い適正な維持管理に努めている。

問② 先ヶ月「苓北町学校規模適正化について」の保護者住民説明会が開催され資料として推進計画(素案)が配布されたが、住民説明会を経たのち答申・配布となるのが本来ではないか。当初は、小学校統廃合に始まり今度は、社会情勢に対応すべきとして義務教育学校へと舵を取る姿勢・教育環境の充実を目指すところ。統合の時期は定めた目標達成のため最大限の努力をなすことが重要

である。今後の取り組みを。

教育長 今回の素案は、保護者や地域の方との協議を進めるためのたたき台として審議会の答申を十分尊重したものである。義務教育学校に向けた基本的な考え方は、小中一貫教育の導入を柱としている。国の中央教育審議会においても、義務教育9年間を見通した小中一貫教育の推進を示している。多様で幅広い視点から児童生徒の育成に取り組んでいく。

問③ 発がん性が指摘されている有機フッ素化合物PFASが確認された問題となっている。全国で水質管理が従前に増して実施あるいは検討計画が予定されているようだが本町の状況は。特排地域の大多数の世帯での水源は共同井戸または湧水と思う。水質の適正管理に対して町の関与は。

町長 県内でも、有機フッ素化合物が検出され現在原因究明が行われている。本町では、国の指導のもと検査を行い何ら問題はなかった。町の水道水が整備されていない地域の方々については、随時水道職員が対応している。衛生面が心配な方には、個別に水質検査のご案内を行い実施している。

質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載しています。

一 安心して住めるまちづくり (一) 人口減少対策と住民生活の保全



浜口 雅英 議員

浜口 近年の日本国内の人口動態は、少子高齢化が顕著になり国内の殆どの自治体に過疎化と少子高齢化社会に対する地域づくりが求められているのではないかと。

この様に人口が減少する推計の中で消滅自治体とも囁かれておりまして、私たちは、この歴史ある苓北町を消滅させてはなりません。

行政、議会は勿論、町民皆が知恵を出し合って、安心して暮らせる町づくりを努めるべき。

町長 昨年の能登半島地震では、上下水道施設も甚大な被害を受け、水道水の断水等国民生活に大きな影響を与えている事から、改めて水道事業危機管理マニュアルを策定しました。

災害時、町内各集落で通行不能となった場合、速やかに物資等の輸送が出来る様に町道をはじめ国道や、県道等最適な迂回路を常に確認し、

有事の際緊急避難路や輸送路として發揮される様、常日頃から適切な維持管理に努めます。

国及び県により整備が進められている熊本天草幹線道路は、災害時に天草島民の孤立を防ぐ道として引き続き早期完成を強く要望していく。

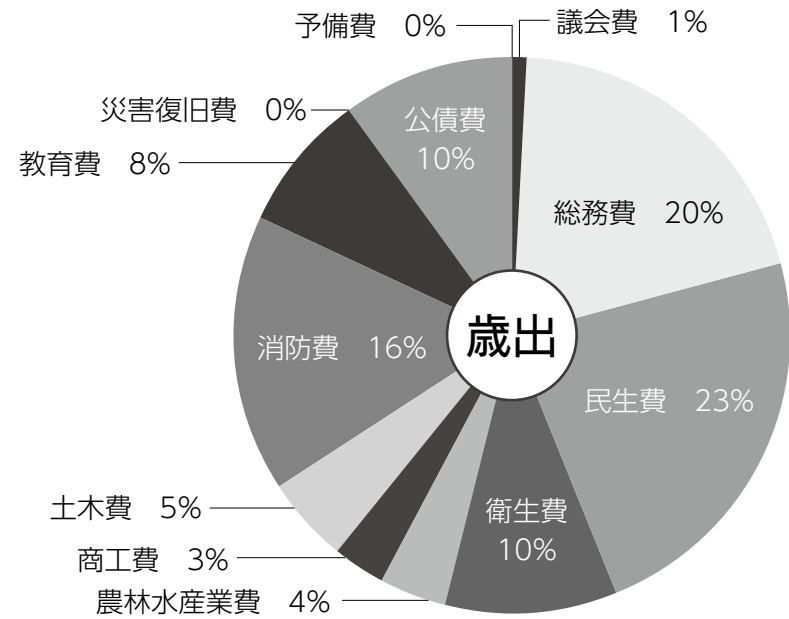
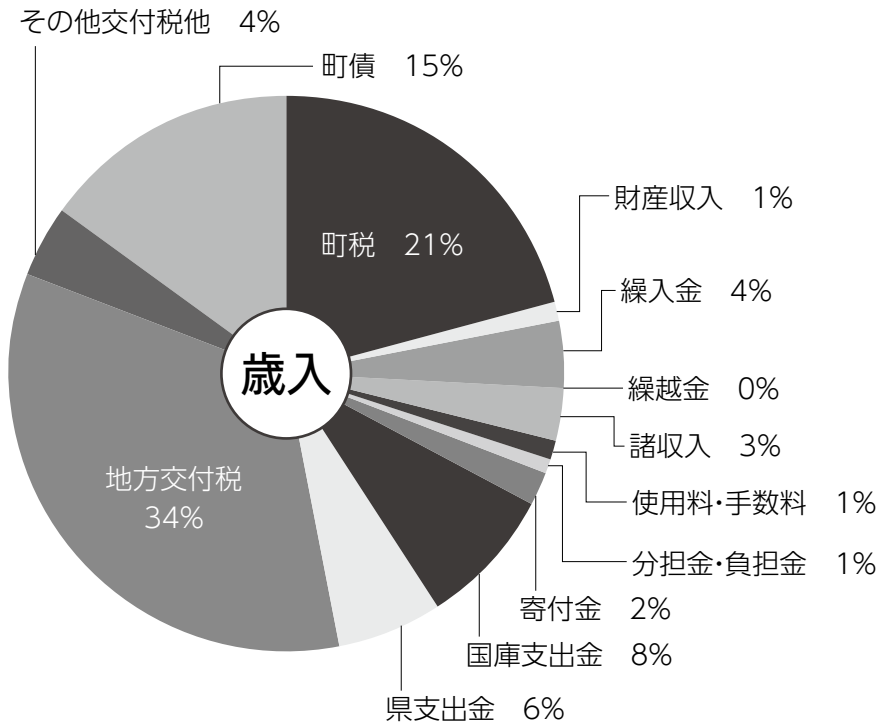
電気やガスの万全の運用、安定供給が求められます。災害時の応援協定締結しており、倒木等により電力線への架かり木屋などの関係で通行ができない場合には関係事業者により電力線、道路の復旧を行う項目を協定書に盛り込んでおります。

電力配電関係の復旧や、し尿、浄化槽汚泥の収集運搬等に関する各協定を締結し、町民の皆様が安心して住んでいただけるよう努めてまいります。

一般会計 (単位：千円)

歳入

区分・率	項目	予算額
自主財源 32.5%	町税	1,248,904
	財産収入	63,710
	繰入金	214,746
	繰越金	10,000
	諸収入	199,173
	使用料・手数料	49,954
	分担金・負担金	40,386
依存財源 67.5%	寄入金	151,946
	国庫支出金	485,464
	県支出金	347,223
	地方交付税	2,058,000
	その他交付税他	269,594
町債	951,900	
100%	合計	6,091,000



※円グラフにおける小数点以下の数字は調整されています。

歳出

項目	予算額
議会費	66,621
総務費	1,232,858
民生費	1,416,514
衛生費	592,559
農林水産業費	232,969
商工費	199,188
土木費	274,574
消防費	958,033
教育費	471,604
災害復旧費	15
公債費	636,065
予備費	10,000
合計	6,091,000

基金残高	2,407,996
起債残高 (うち臨時財政対策債)	5,647,164 (2,064,506)

※令和7年3月見込み額

※臨時財政対策債とは、国から交付される地方交付税の不足分を補うための特例的な町債です。用途は自由で、元利償還金は翌年度以降、国が地方交付税で全額措置を行うものです。

令和6年度各会計補正予算について

(単位:千円)

議案番号	事件名	補正前の額	補正額	補正後の額	備考	結果	
承認第1号	専決第1号 令和6年度苓北町一般会計補正予算(第6号)	5,806,956	50,630	5,857,586	「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」31,866千円の増額ほか。	◎	
議案第15号	令和6年度苓北町一般会計補正予算(第7号)	5,857,586	△145,665	5,711,921	ふるさとづくり寄附金対策事業の実績見込みによる寄附謝礼品22,500千円の減額ほか。	◎	
議案第16号	令和6年度苓北町都呂々財産区特別会計補正予算(第2号)	77,317	0	77,317	事業の実績見込みによる一般会計への繰入金265千円を減額し、予備費265千円増額。	◎	
議案第17号	令和6年度苓北町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	1,037,843	40,250	1,078,093	保険給付費等交付金37,184千円の増額ほか。	◎	
議案第18号	令和6年度苓北町介護保険特別会計補正予算(第3号)	1,135,130	14,516	1,149,646	居宅介護サービス給付費23,000千円の増額ほか。	◎	
議案第19号	令和6年度苓北町宅地造成事業特別会計補正予算(第2号)	12,914	△11,769	1,145	財産売却収入11,187千円の減額ほか。	◎	
議案第20号	令和6年度苓北町水道事業会計補正予算(第4号)	収益的支出	289,806	3,458	293,264	原水及び浄水費800千円の増額ほか。	◎
		資本的支出	51,770	131	51,901	固定資産購入費131千円の増額。	◎
議案第21号	令和6年度苓北町下水道事業会計補正予算(第4号)	513,489	0	513,489	営業費用、営業外費用2,088千円の増額。特別損失2,088千円の減額。	◎	

【結果の表示】◎全会一致で可決

令和7年度各会計当初予算について

(単位:千円)

議案番号	事件名	本年度予算額	前年度予算額	比較	結果	
議案第6号	令和7年度苓北町一般会計予算	6,091,000	5,311,000	780,000	○	
議案第7号	令和7年度苓北町坂瀬川財産区特別会計予算	2,582	2,182	400	◎	
議案第8号	令和7年度苓北町都呂々財産区特別会計予算	75,129	67,029	8,100	◎	
議案第9号	令和7年度苓北町国民健康保険特別会計予算	1,037,873	1,013,065	24,808	◎	
議案第10号	令和7年度苓北町介護保険特別会計予算	1,077,196	1,079,287	△2,091	◎	
議案第11号	令和7年度苓北町後期高齢者医療特別会計予算	156,188	149,102	7,086	◎	
議案第12号	令和7年度苓北町宅地造成事業特別会計予算	11,573	12,588	△1,015	◎	
議案第13号	令和7年度苓北町水道事業会計予算	収益的収入	192,419	194,550	△2,131	◎
		収益的支出	277,957	285,232	△7,275	◎
		資本的収入	24,476	28,290	△3,814	◎
		資本的支出	45,691	49,670	△3,979	◎
議案第14号	令和7年度苓北町下水道事業会計予算	収益的収入	310,109	297,500	12,609	◎
		収益的支出	525,740	510,900	14,840	◎
		資本的収入	243,539	313,550	△70,011	◎
		資本的支出	241,033	313,685	△72,652	◎

【結果の表示】◎全会一致で可決 ○賛成多数で可決 (賛否表はP11のとおり)

苓北町議会だより「きずな」第133号

賛否表（ ○ 賛成 ・ ● 反対 ・ 欠 欠席 議長（野崎）は採決に加わらない）

Table with columns for proposal number, item name, result, and voting members (野崎, 高戸, 錦戸, etc.).

委員の任命・選任について

Table detailing the appointment and election of committee members, including names, addresses, and terms.

陳情等文書の取り扱い結果

Table showing the handling results of petitions, including the date received, the item name, the petitioner, and the result.

苓北町議会予算審査特別委員会 審査報告書

苓北町議会予算審査特別委員会 委員長 倉田 明

令和7年第1回苓北町議会定例会において付託された、令和7年度苓北町一般会計予算(案)、各特別会計予算(案)及び各事業会計予算(案)の審査結果について、次のとおり報告します。

6. 要望事項の提出II次のとおり執行部に對し要望することに決定しました。
①一般会計
(1)歳入について
○ふるさとづくり寄付金の増について、引き続き努力されたい。

議案第6号 令和7年度苓北町一般会計予算(案)に対する討論
原案に反対討論
松本議員
三億三千万円を投じて広域避難地防災公園が計上されている。

原案に賛成討論
廣田議員
令和7年度、国の定期接種の該当とならない50歳以上の町民に、町独自の施策として、助成が継続されることを確認した。

錦戸俊春議員
自治功労者特別表彰受賞

令和7年2月21日に開催された、熊本県町村議会議長会、第75回定期総会において、錦戸俊春議員への熊本県町村議会議長会、自治功労者特別表彰が、野崎幸洋議長へ伝達され、同年3月5日開会の令和7年第1回苓北町議会定例会において、野崎議長から錦戸議員に表彰状が伝達されました。



野崎議長(左)から錦戸議員(右)へ表彰状が伝達されました。

国道道路の整備促進を要望

上天草市・天草市・苓北町で構成する天草地域国道道路整備促進協議会(各首長・議長・建設経済環境常任委員長・天草選出県議員)では、令和6年11月1日、県庁に於いて木村敬熊本県知事、山口裕熊本県議会議長に、天草地域の国道道路整備促進に関する26箇所の要望書を提出された。

- 一、整備着手箇所の早期完成
 - ①国道389号下田南バイパス(天草町下田北地区から南地区) 改良事業
 - ②国道389号都呂々拡幅(都呂々小松地区) 改良事業
 - ③一般国道坂瀬川御領線(坂瀬川鶴地区)(五和町城河原地区) 改良事業
 - ④一般国道都呂々宮地岳線(都呂々涼松地区) 改良事業
 - ⑤国道324号(坂瀬川地区から上津深江地区) 越波対策事業
- 二、新規事業箇所の早期着手
 - ①主要地方道本渡五和線(五和町二江地区) 改良
 - ②一般国道福連木都呂々線(上地区) 法面保護及び改良
 - ③一般国道坂瀬川御領線(浦地区) 改良
 - ④国道266号(苓北町都呂々地区) 法面安全点検・調査
 - ⑤ほか天草管内6箇所。

全員協議会

令和7年3月6日(木)

議会議場

1. 第3期苓北町まち・ひと・しごと創生総合戦略について

企画政策課から、次の説明を受けた。

- 苓北町人口ビジョン
- 苓北町は、2050年までに20〜39歳の女性人口が50%以上減少する自治体、いわゆる「消滅可能性都市」として公表されているが、次の6つの基本的視点を踏まえた「戦略」などにより人口減少対策を進めていくことで「2050年に5,000人程度の人口確保」を目指すこととする。
- 《6つの基本的視点》
- (1)人口の流入促進と流出抑制
- (2)若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる
- (3)健康づくりによる健康寿命の延伸
- (4)一次産業の振興
- (5)知名度の向上、町全体の魅力化
- (6)人口減少への適応

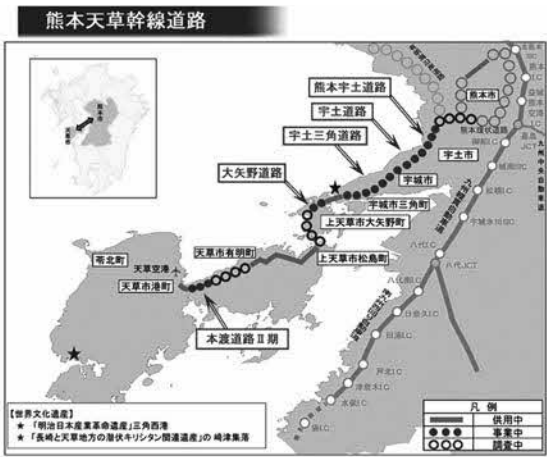
■第3期苓北町まち・ひと・しごと創生総合戦略

第3期苓北町まち・ひと・しごと創生総合戦略では、4つの基本目標を掲げ、町民一人ひとりが生きがいをもち、安心して心豊かに暮らすことができる、次代に誇れるまちづくりを進める。

熊本天草幹線道路の早期完成を求める天草島民集会開催される

令和7年1月25日、熊本天草幹線道路整備促進期成会と熊本天草幹線道路整備促進協議会は、JA本渡五和2階大会議室において、天草3市町の首長・議長・議員・関係者など会場満席の中、来賓に亀崎直隆熊本県副知事をはじめ、森田康夫国土交通省九州地方整備局長、金子恭之衆議院議員、吉田宣弘衆議院議員、松村祥史参議院議員、山口裕熊本県議会議長を迎え開催され、次の大会決議を関係機関に強く提言する。

- 一、事業中區間である「熊本宇土道路」「宇土道路」「宇土三角道路」「大矢野道路」「本渡道路II期」の早期完成のための予算確保
- 二、調査中區間の早期事業化の実現



- 《4つの基本目標》
- (1)地域資源を活かした魅力あるしごとをつくる
- (2)新しいひとの流れをつくる
- (3)町民が結婚・妊娠・出産・子育てしやすい環境を整備する
- (4)町の知名度を向上させ、安心して快適な、魅力あるまちをつくる

2. 苓北町学校規模適正化推進計画(素案)保護者・住民説明会の結果について

苓北町教育委員会では、令和7年1月21日から24日にかけて、町内4会場で保護者・住民説明会を実施した。

説明会では、統合による環境の変化、地域との繋がり、義務教育学校に関する情報などについて、多くの意見や要望があり、このことを踏まえ、苓北町学校規模適正化推進計画を策定した。基本的な考え方、適正化に向けた計画は次のとおり。

- 《基本的な考え方》
- (1)苓北町学校規模適正化推進計画は、令和7年4月から取組を始める。
- (2)児童生徒にとって望ましい教育環境の整備を図る。また、既存の校舎等を有効活用する。
- (3)小中一貫教育の導入は、子どもは地

域の宝であり、本町の児童数の減少に対応して、子どもの社会性を育てるためには、幅広い年代の子どものたちが学ぶ環境としての小中一貫教育が望ましいと考える。教育委員会では、「ふるさと苓北を愛し、ふるさと苓北を大切に」という心と体を育てる「町教育基本方針のもと、子どもを真ん中に義務教育9年間を通してた教育課程、指導体制等を弾力的に推進することができる「義務教育学校」を設置し、小中一貫教育に取組む。

(4)推進計画は、保護者、地域、町民の理解と協力を得ながら進めていく。

《適正化に向けた計画》

- (1)統合対象校 小中学校全校を統合し、施設一体型の義務教育学校1校を開校する。
- (2)統合新校の位置 現在の志岐小学校及びその周辺とする。
- (3)統合の時期 統合の時期については、令和12年4月1日を目標とする。
- (4)統合準備委員会(仮称)の設置 令和8年度より設置し、新学校名、校章、校歌、制服、学校行事、PTA運営、開閉校式等の事項及び学校運営全般の協議を行う。決定事項は、広報紙等を通じて随時情報発信していく。

議会活性化等検討委員会

令和7年3月13日(木)第1・第2委員会室

苓北町議会へのご意見箱設置について

苓北町議会では、分かりやすく、開かれた議会を目指し、町民の皆様から議会に関する幅広いご意見をお聴かせいただくため、ご意見箱を設置し、お寄せいただいたご意見等は、今後の議会運営や町政への提言の参考にさせていただきますので、備え付けの「ご意見記入用紙」に記入のうえ、ご意見箱に投書していただくことと決定した。

なお、設置箇所は、役場本庁ロビー及び各地区公民館の4ヶ所とします。



苓北役場町民ホールに設置したご意見箱

ハラスメントに関する職員アンケート結果について

【目的】 町議会議員によるハラスメント防止の取り組みを進めて行くにあたり、今後の検討材料とするため、議員と職員との間におけるハラスメントの実態を把握することを目的としてアンケートを実施した。

【実施期間】 令和7年2月4日(火)~14日(金)
【対象者】 全職員(再任用、会計年度任用職員を含む。)158人
【回答】 133件(84.2%)

町議会議員からハラスメントを受けたことは、
ある36人(27.1%)
ない97人(72.9%)

ハラスメントとは

ハラスメントは、相手を傷つけるだけでなく、議員自身、ひいては議会全体の社会的信用を大きく損ねる行為とされている。

※今後ハラスメント防止条例等の検討を行う。



町花「はまゆう」

議 会 日 誌

※主なものを載せています

(1月22日以降分)



町木「ツバキ」

1月

23日 県町村議会議長会議員研修会
(Web研修：苓北町役場)

2月

6日 総務文教厚生常任委員会
6日 建設経済環境常任委員会
6日 議会運営委員会
6日 議会広報特別委員会
25日 議会運営委員会

3月

5～13日 令和7年第1回苓北町議会定例会
(10.11.12日は予算審査特別委員会、
8.9日は休会)

6日 全員協議会
13日 議会活性化等検討特別委員会
13日 総務文教厚生常任委員会
13日 建設経済環境常任委員会
13日 議会広報特別委員会
31日 議会広報特別委員会

4月

8日 議会広報特別委員会

次の定例会は **6月** です。

編集後記

3月9日(日)に苓北中学校の、そして、3月24日(月)に坂瀬川、志岐、富岡、都呂々の各小学校卒業式が挙行されました。
卒業生の皆さんおめでとう
ございます。
それぞれの目的に向かって
精一杯頑張ってください。
議会広報特別委員会



苓北中学校



富岡小学校



坂瀬川小学校



都呂々小学校



志岐小学校